

# 日本植物園協会ナショナルコレクション

## 「兵庫県立フラワーセンターストレプトカーパス属コレクション」



ストレプトカーパスは、1980年代に室内観賞用植物として注目されたが、日本の気象条件下では栽培の難しいものが多く、市場には一部の限られた品種しか出回っていなかった。当園では、家庭に普及させることを目的に、原種や園芸品種を海外から積極的に収集し、それらを元に交配することにより鉢花に適した園芸品種を育成した。当園のコレクションは、独自に育成した園芸品種57品種とその改良に密接にかかわった原種及び園芸品種合わせて188種類であり、我が国における保全すべき遺伝資源として非常に貴重である。

当園のコレクションは、独自に育成した園芸品種57品種とその改良に密接にかかわった原種及び園芸品種合わせて188種類であり、我が国における保全すべき遺伝資源として非常に貴重である。

### コレクションの栽培管理と保全および公開状況



園内バックヤードで栽培している。挿し木、播種、移植、採種等の管理を継続的に行い、原種については種子を採種し保存している。脆弱で増殖の難しい種類については複数株を保有するようにし、国内の植物園や個人愛好家等にも分譲している。

大温室内のゲスネリア室を中心に、花期(春季、秋季)に開花株を展示している。なかでも、10月に特別展示「ストレプトカーパス展」を開催している。



National  
Collection

JABG National Plant Collection  
Certification System

兵庫県立 **フラワーセンター**